学校番号	T1202

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（通信）政治・経済	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『最新　政治・経済』（実教出版）						
副教材等	自作教材・プリント・レポート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「公共」で学習した内容のうち、政治・経済的分野についてより深化した内容を学びます。人権思想や近代国家思想、近現代における日本の政治や経済の歩みなど、「歴史総合」と重なる内容も多くあります。主体的、積極的に学習に取り組みましょう。
・単元の学習ごとにレポート課題を課します。授業内容に即したものとなるので、日々の授業を大切に取り組みましょう。
・単元ごとの「パフォーマンス課題」や、学習の振り返りをするために「振り返りシート」を記入してもらいます。記述内容や課題の取り組み具合はすべて評価の対象とします。しっかり取り組みましょう。
・授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせず、しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
【思考力、判断力、表現力等】
・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。
【学びに向かう力、人間性等】
・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などにかかわる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間(後期中間)	第１編　現代日本の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加	a:政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係などについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 現代日本の政治・経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:現代日本の政治的諸課題に対する意識を強く持ち，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	レポート 定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	ポートフォリオ

前期中間(後期中間)	第2編 現代日本の経済・第3編 現代日本における諸課題の探究	・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上 ・日本経済のあゆみとこれから	a:経済活動と市場,経済主体と経済循環,国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 b:経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:現代日本の経済的諸課題に対する意識を強く持ち，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	レポート 定期考査	レポート 定期考査 調べ学習	ポートフォリオ 振り返りシート
前期期末(後期期末)	第1編 現代の国際政治・第2編 現代の国際経済	・国際政治の動向と課題 ・国際経済理論 ・国際経済の動向と課題	a:国際社会の変遷，人権，国家主権，領域などに関する国際法の意義，国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解している。 貿易の現状と意義，国民経済と国際収支，国際協調の必要性などについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 b:国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:国際社会を担う一員として，現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	レポート 定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	ポートフォリオ

前期期末(後期期末)	第3編 国際社会における諸課題の探究	・SDGsの実現に向けて	a:これまで学習した各課題に関連する知識を整理し，理解している。 各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	レポート 定期考査	レポート 定期考査 調べ学習	ポートフォリオ 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度